



SSJDAにおけるCoreTrustSeal 認証取得報告 ——成果と展望——

胡中 孟徳（東京大学社会科学研究所附属社会調査・データアーカイブ研究センター）
南山 泰之（東京大学社会科学研究所附属社会調査・データアーカイブ研究センター）

研究データ利活用協議会（RDUF）2025年度公開シンポジウム ライトニングトーク
科学技術振興機構 東京本部別館

Social Science Japan データアーカイブ (SSJDA)

- › 東京大学社会科学研究所附属社会調査・データアーカイブ研究センターが運営する、社会科学分野のアーカイブ
- › 寄託者（一次調査実施者など）から寄託いただいたデータを、利用者に提供している。個票データの提供は1998年4月から実施。
- › 2025年6月よりCTS認証を得ている



Current CoreTrustSeal certified data repositories

REPOSITORY	INSTITUTION	WEBSITE	ADDRESS	VALID UNTIL	PDF
Social Science Japan Data Archive (SSJDA)	Center for Social Research and Data Archives, Institute of Social Science, The University of Tokyo	https://csrda.sss.u-tokyo.ac.jp/en/ssjda/	7-3-1 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo, JP	2028-06-18	
Finnish Social Science Data Archive	Tampere University	www.fsd.tuni.fi	Åkerlundinkatu 5 B, Tampere, FI	2027-10-22	
DANS Data Station Social Sciences and Humanities	Data Archiving and Networked Services (DANS)	https://ssh.datasstations.nl/	Anna van Saksenlaan 51, 2593 HW, The Hague, NL	2027-08-20	
AUSSDA - The Austrian Social Science Data Archive	University of Vienna	https://aussda.at/	Universitätsring 1, 1010 Vienna, AT	2026-11-08	

CoreTrustSealとは

- › 信頼できるデータリポジトリの中核要件に基づく認証基準（とその運営組織）
 - 人文学・社会科学系の認証団体“Data Seal of Approval (DSA)”と自然科学系のコミュニティ“World Data System (WDS)”が協働して開発・運用（2016～2017年）



- › 各要件に対して、内部自己評価を実施し、審査を受ける。最大5回まで改訂可能。アクセプトされると、3年間の認定。
- › 要件は、組織的、デジタルオブジェクト管理、技術的の観点に大別される

項目名	SSJDA評価	新規ポリシー等策定	更新に向けて必要なアクション
R0 背景情報 (Background information & Context) 組織的な基盤	—		
R1 ミッション／スコープ (Mission/Scope)	実装済み		
R2 権利管理 (Rights Management)	実装済み		
R3 サービスの継続性 (Continuity of service)	進行中		継承計画の策定
R4 法的／倫理的対応 (Legal & Ethical)	実装済み	✓	
R5 ガバナンス＆リソース (Governance & Resources)	実装済み		
R6 専門性とガイダンス (Expertise & Guidance) デジタルオブジェクト管理	実装済み		
R7 来歴と真正性 (Provenance and Authenticity)	進行中		バージョン管理のシステム化
R8 寄託・評価 (Deposit & Appraisal)	実装済み	✓	
R9 保存計画 (Preservation Plan)	進行中	△	保存ポリシーの策定と関連ドキュメントの整備
R10 品質保証 (Quality Assurance)	実装済み	✓	
R11 ワークフロー (Workflows)	実装済み	✓	
R12 データの発見と識別 (Discovery and Identification)	実装済み		
R13 再利用 (Reuse) 技術	実装済み		
R14 保管と完全性 (Storage & Integrity)	進行中		バックアップへの自動復帰を検討、実装
R15 技術基盤 (Technical Infrastructure)	実装済み		
R16 セキュリティ (Security)	実装済み		

取得のモチベーションと取得のメリット

- › 社会科学分野でのデータの公開・共有、コードの共有推奨（2010s～）
 - 政治学・経済学の国際誌で再現性ポリシー整備。国内和文誌は未対応が多い。
- › →公開先リポジトリの信頼性も求められる傾向
 - 論文中のData Availability Statementで、公開先リポジトリがCTSを取得していると言及するなど
- › 自己評価・外部評価の機会
 - 自機関の体制、業務手順を検証し、必要に応じて更新する契機
 - 社会科学領域の専門性や利用が強みである一方、長期保存体制構築や完全性の保証などには課題があることを再認識

ご清聴ありがとうございました！

ご関心のある方はポスターセッションで、より詳細な点も紹介します。